

先日開催されたサッカーW杯では、人種差別や侮辱行為に関して、口を意図的に覆い相手に何かを言う行為がレッドカードになるなど、人権を重んじたルールが適用されました。世界の人々が集う大会では、人種の違いから人権侵害が度々取り沙汰されます。楽しむだけではなく、スポーツを通じて人権を考え学ぶことも必要です。



災害への備えの大切さ

今年6月26日に起きた地震(震源:富士五湖地域)では山梨県内の広い範囲で大揺れとなり、驚かれた方も多かったと思います。幸いにして大きな被害にはなりませんでした。家具の固定など地震対策の大切さを改めて実感しました。山梨県を含む広大な地域で近い将来に必ず起きるとされている大地震が“南海トラフ地震”です。概ね100～150年間隔で繰り返し起きており、次の発災が切迫しています。政府の地震調査委員会は、今後30年以内の発生確率を60～90%以上と評価しています。

また、山梨県が3年前に発表した被害想定では、適切な対策を講じないと、県内で全壊する建物は6万棟以上、死者は約3千人に達する恐れがあるとのことです。(※1)おそらく、県内に住んでいる人々の概ね半数以上は、生存中にこの大地震に遭遇する可能性が高いのではと思います。

また本県では、豪雨が降り続くことで主要な道路や鉄道が土砂崩落で不通になり、“陸の孤島”に陥る危険があります。令和元年10月の東日本台風による集中豪雨では、県内でJR中央線や中央高速道の一部が土砂に埋まり、その復旧に1～2週間を要しました。もし近い将来、南海トラフ地震が起きれば、県内の広い範囲で土砂崩れ等が起き、長期にわたって本県が“陸の孤島”となる恐れがあります。県下各地での交通網の寸断に加えて、電線や水道管などの破断による停電や断水も長引く可能性があります。

このため、家庭での水・食料の備蓄は最低でも3日分、できれば7日以上が現在の日本の防災基準です。保存性の高い品物(レトルト食品、シリアル食品、缶詰、ミネラルウォーター等)を少し多めに買って常に備蓄を循環させる“ローリング・ストック”方式がお勧めです。

災害用に“特別な保存食を大量に買って放置する”のではなく、普段食べるものの消費と補充を繰り返すことで、常に新しい備蓄が家にある状態を保てます。(※2)

山梨県では、子どもの頃から防災に関心を持ち、防災知識や意識の向上を図ることを目的に、小中学生向け「やまなし防災ガイドブック」を令和5年に作成しました。山梨県で過去に起きた主な災害や、災害から命を守る方法、普段からの備え、災害が起きたときの対処法などを、写真・イラストやクイズなどで分かりやすく紹介しています。インターネットで閲覧やダウンロードができますので、学校教育や家庭などでの活用をお勧めします。(※3)



(※1) 山梨県「地震被害想定調査の結果をお知らせします」(リーフレット)
https://www.pref.yamanashi.jp/documents/109141/yamanashi_ri-hurextuto.pdf



(※2) 政府広報オンライン「今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方」
<https://www.gov-online.go.jp/article/202103/entry-10236.html>



(※3) 山梨県「小中学生向け防災冊子『やまなし防災ガイドブック』」
https://www.pref.yamanashi.jp/bousai/bosai_guidebook.html

今後の予定

人権啓発パネル展	8月10日(月)～8月23日(日)甲府市北東公民館、リッチダイヤモンド総合市民会館にて、人権啓発パネル展を開催します。
人権啓発映画鑑賞会	8月21日(金)リッチダイヤモンド総合市民会館にて、映画鑑賞及びディスカッションを行います。
人権啓発講演会	8月5日(水)甲府市上下水道局、甲府市環境部にて、人権啓発講演会を開催します。

活動報告

人権啓発講演会	7月17日(金)山梨県立図書館(多目的ホール)において、市民対象の令和8年度人権講演会を開催しました。
人権啓発パネル展	7月7日(火)～7月20日(月)甲府市中央公民館、甲府市立図書館において、人権啓発パネル展を開催しました。
人権啓発映画鑑賞会	7月18日(土)甲府市立図書館において、映画鑑賞及びディスカッションを行いました。
人権移動教室	7月6日(月)甲斐市竜王北中学校、7月13日(月)甲斐市敷島南小学校において、人権移動教室を開催しました。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

< 協賛 >
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立甲府南中学校二年生女子

今日の杉藤先生のお話を聞いて私の印象に残ったことは、人権とは自分の命と幸せを守るものという言葉です。この言葉を聞くまで私は人権という言葉は知っていませんでした。その意味とは何なのかよくわかっていませんでした。なのでこの言葉を聞いたときなるほどと思いました。そしてこの人権を守るためには周りの人を大切にすることを意識し、それを実際に行動に移すことも大事ということを知り、今までの自分を振り返ってみることにしました。

前階段を登ろうとしていたおばあさんの荷物を持てず、私が行動に移せなかったことに後悔がありました。でも杉藤先生の一度勇気をだして行動すれば二回目、三回目は当たり前のように行動に移せるという言葉を知り、次は行動に移し周りの人達を助け自分が困っているときには助けもらう、お互いに人権を尊重し合い、誰も困らない傷つかないうような関係をもてる人になりたいと思いました。

甲府市立甲府南中学校二年生女子

私は、杉藤先生の講演会を聞いて、人権とは、すべての人間が、人間の尊厳に基づいて持っている固有の権利、自分が生きていく中で、絶対に誰かが苦痛をしていて、という言葉を心に残りました。自分一人が幸せになるのではなく、他人を助けて、幸せを感じさせるようにしたいと思いました。そして、ドレドレを見て、戦争などで、こんなにモロモロに死んでいくというのを知って驚いたし、水や食料がなく、苦しい生活をしていく人もたくさんいることを知ることができた。

私たちが、あたりまえのように水道から水を飲んでいたり、それを飲むことができて、誰かの助けのおかげで、今までは自分が、行動しようと思うことができた。誰かが困っていたり、余裕がなさそうだったり、忙しそうだと感じたときに、自発的に声をかけをしてサポートしてあげたいと思いました。